

2025
春号
No.98

ほ な み
穂 濤
For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稲門会
事務局
FAX 050-3730-7252
E-mail:w.fujisawa@
crocus.ocn.ne.jp
発行人 笹井修一
穂濤編集委員会

2025年度定時総会

2月2日(日)に藤沢市民会館第一展示集会ホールで開催された。心配された降雪は無く、寒かったが、83名の会員が元気に参集した。足元が悪い為、定刻の1時を少し遅らせ神藤利路事務局長の司会で開始。まず昨年物故された8名の方に黙祷を捧げた。笹井修一会長の簡単な挨拶の後、洞江良幹事が議長に選出され、議案審議が始められた。 梶倉康博副会長より、2024年度の事業活動報告、笹井会長より、幹事・監査監事交代の提案、また各委員長より、2025年度の事業計画案の説明があった。 田中雄一副会長から2024年度の決算報告、渋谷道夫会計幹事から2024年度監査報告、そして2025年度予算案では、本総会・新春のつどいは値上げとなり来年は安価で簡素な又参加者を増やす総会を検討したいと田中副会長から説明があった。各議案共拍手をもって承認された。会員の暖かい拍手のなか新幹事5名、退任幹事6名、1名の会計監事が紹介された。 最後に笹井会長より「明日の稲門会」の方針として若手に引き継いだ次世代の稲門会、母校への恩返しと社会貢献が示された。そして

新しい形の総会を開催!

2月2日(日)に藤沢市民会館第一展示集会ホールで開催された。心配された降雪は無く、寒かったが、83名の会員が元気に参集した。足元が悪い為、定刻の1時を少し遅らせ神藤利路事務局長の司会で開始。まず昨年物故された8名の方に黙祷を捧げた。笹井修一会長の簡単な挨拶の後、洞江良幹事が議長に選出され、議案審議が始められた。 梶倉康博副会長より、2024年度の事業活動報告、笹井会長より、幹事・監査監事交代の提案、また各委員長より、2025年度の事業計画案の説明があった。 田中雄一副会長から2024年度の決算報告、渋谷道夫会計幹事から2024年度監査報告、そして2025年度予算案では、本総会・新春のつどいは値上げとなり来年は安価で簡素な又参加者を増やす総会を検討したいと田中副会長から説明があった。各議案共拍手をもって承認された。会員の暖かい拍手のなか新幹事5名、退任幹事6名、1名の会計監事が紹介された。 最後に笹井会長より「明日の稲門会」の方針として若手に引き継いだ次世代の稲門会、母校への恩返しと社会貢献が示された。そして



総会進行の様子

2025年度事業計画

- 基本方針
- ①次世代の稲門会をつくる
 - ②母校への恩返しと社会貢献

「行事・他」
☆箱根駅伝沿道応援
(1月2・3日)

- ☆総会・新春のつどい(2月2日)
- ☆キャンパスツアー(3月/延期)
- ☆地引綱(6月15日/日曜日)
- ☆昨年同様バリアフリービーチマツトを敷設し、地元障がい者の方々にご参加いただく予定。多数の参加を期待する。
- ☆新入会員交流会
- ☆新たに参加された会員のご意見やご要望をお聞きする良い場であるので、早い時期に実施予定。
- ☆作品展
- ☆第23回作品展は、ODAKYU湘南GATE(藤沢市民ギャラリー)で秋以降に開催の予定。幅広いジャンルで、会員の皆様およびご家族の方々の意欲的な出展をお待ちします。
- ☆藤箱懇話会
- ☆今年度も会員の皆様の興味をひくテーマと講師の選定を工夫し、3回程度の開催を計画。
- ☆女性若手の親睦交流会
- ☆女性校友への入会呼びかけと会員相互の親睦を図る交流会等を企画。
- ☆「神奈川県平成卒の会」として若手会員の親睦交流会を予定。
- ☆県下稲門会及び他大学との交流
- ☆県下稲門会と交流。
- ☆藤沢三田会及び藤沢白門会とは、適宜、情報を交換して行く。
- ☆SUCに関しては状況を見ながら参加または不参加を検討する。

- ☆H.P・LINEを活用した継続的な入会活動展開。
(サイト運営チームとの連携)
- ☆箱根駅伝応援におけるターゲットを絞った新入会員増強活動。
- ☆新入会員交流会の実施等を通じた行事、同好会への参加促進。
- ☆藤箱懇話会の定期的な実施と会員の興味をそそるテーマと講師選定。
- ◆行事企画運営委員会
- ☆箱根駅伝応援・新春の集い・地引綱・作品展をメイン行事として継続。
- ☆各同好会、委員会等のイベント支援もしくは共催。
- ☆新規イベントの創出。
- ☆呼びかけにはH.P、藤沢稲門会LINEを活用していく。
- ◆女性委員会
- ☆女性校友の入会呼びかけ、会員相互の親睦を深める。
- ☆委員会主催の懇親会を開催する。
(年1〜2回実施)
- ☆他委員会と連携してイベントを企画する。
- ☆県下稲門会「女性の会」との交流に努める。
- ◆広報委員会
- ☆「穂濤」発行。98号(春号)3月20日、99号(夏号)6月20日、100号(秋号)9月20日、101号(冬号)12月20日
- ※年間20ページを計画
- ◆WEB運営チーム
- ☆LINE登録者の充実とコンテンツの充実を図る。

穂 漣

寒空の中会場は熱気に包まれた!

新春の集い

総会終了後同会場にて来賓16名を含む99名の参加により新春の集いが開催された。司会は市島徹、三ツ村由紀子両幹事が務めた。

冒頭笹井修一会長からは「今年より皆さんが参加しやすい総会を目指し、内容や進め方について様々な工夫を凝らし始めている。来年は是非とも出席率の倍増を図りたい。」との言葉があった。

来賓挨拶では早稲田大学三浦暁総務部長より大学の近況報告を、また東島正樹稲門会県支部長より

「県支部ホームページの開設、神奈川県内14の地域稲門会の横断的な若手の会や女性の会がスタートするなど相互交流が非常に活発になっている。」とお話をいただいた。

皆川龍司顧問による発声にて乾杯。会場内は久しぶりの親交に会



浪曲師天中軒すみれ氏と曲師の沢村理緒氏



大円陣の校歌斉唱

話が弾む。長寿表彰(昭和39年卒)は16名、出席者による「早稲田の栄光」の合唱の中8名が登壇、記念品贈呈や記念撮影の後、代表して渡辺明氏が挨拶をされた。続いて新入会員5名が自己紹介を行う。そして恒例のアトラクション。今年、東京芸大卒の浪曲師天中軒すみれ氏による演目「若き日の小村寿太郎」が披露される。多くの人にとって浪曲は初めての体験で、聞き入る姿は皆、真剣そのもの。物語の途中になぜか大隈重信侯が登場。曲師の沢村理緒氏が三味線で「紺碧の空」を奏で皆が歌うという貴重な体験をする。

最後は全員が大円陣となり、中央に立つ応援部OB野澤大地氏の見事なリードによる校歌の斉唱。力のこもった歌声は今季一番の寒さを吹き飛ばした。

(安田佳裕 記)

2025年度 役員・幹事一覧

- *会 長
笹井修一
- *副 会 長
田中雄一(会計)
- 舩岡 健(広報)
- 山下扶佐子(女性委員会)
- *幹事長・事務局長
神藤利路
- *幹 事
神藤利路

- 小川道雄
(行事企画運営委員長)
- 洞江 良
(組織拡大活性化委員長)
- 松本佐知子(女性委員長)
- 青木 康(広報委員長)
- 井上俊弘
(昭和56理工・58工研)
- 金柿 秀(昭和56商学)
- 徳永竜彦(昭和56理工)
- 野田和宏
(平成1理工・3工研)
- 百瀬 浩
(昭和57理工・59工研)

- *監 事
石川一平/市島 徹
小泉英春/高野尚志
瀧澤和美/服部祐司
三ツ村由紀子/本谷 守
安田佳裕/山口金雄
- *退任幹事
※太字は新任
※苦勞様でした。
大庭信俊/佐藤順子
梶倉康博/杉下由輝
田中 実/八田英治
村山雅夫/
三瀧信道(監事)

穂 漣

総合4位、来年はさらなる飛躍を!

第101回箱根駅伝

今年の箱根駅伝は藤沢稲門会では昨年と同様に、東地区は社会福祉法人「創」障がい者グループホーム駐車場、西地区は湘栄建設社堂支店駐車場を確保して、会員・校友に多く結集していただいた。

往路2日は天候に恵まれ、気温は低いが快晴の中スタート。1区の間瀬田純平は区間4位とまずまず。2区・山口智規はなかなか調子が出ない。しかし、藤沢を走る3区・山口竣平が区間3位の力走で5位に浮上。4区・長屋匡起が6位に順位を下げたが、5区・工藤慎作が区間2位「山の名探偵」と称された激走で3位で往路を終わった。



3区/山口竣平選手

復路3日も快晴だが気温は低い、6区・山崎一吹が4位と順位を下げて、7区・伊藤大志も4位、8区・伊福陽太が再び3位に上げ、9区・石塚陽士は何とか3位を守ったが、10区・菅野雄太が国学院に10秒遅れ、総合4位でフィニッシュした。

来年の箱根駅伝は有望な選手の



8区/伊福陽太佑選手

加入もあり、さらなる希望を抱かせるとの情報もあり、来年も応援会場で会いましょう。
(山口金雄 記)

【参加者】(敬称略)
鎌倉稲門会／川崎稲門会
相模原稲門会／逗葉稲門会
横須賀三浦稲門会／秋田稲門会



来藤した秋田稲門会のメンバーと共に

85年次稲門会／藤沢三田会他
【ご寄付】(敬称略)
鎌倉稲門会／相模原稲門会
逗葉稲門会／横須賀三浦稲門会
藤沢三田会
大倉隆郎／片山徹他

アフターヌーンコンサート

新堀ライオン館を満員にして!

アフターヌーンコンサートが11月17日(土)新堀ライオン館で13時から3時間開かれました。女性委員会と行事委員会の共同企画で、80名が集まり満員御礼です。第1部は金持亜美(かみあみ)さんのソプラノによるオペラのアリア独唱です。「歌に生き恋に生き」等有名の「蝶々夫人」の「ある晴れた日」を歌われた時には感動の嵐でした。涙ぐむ方もちらほら。のびやかな素晴らしい音量に心打たれました。第2部はピアノニストの徳備佑子

(とくびゆうこ)さんによるポップな楽しい曲、さわやかな曲のアラカルトです。すっかり気分が開放されました。そこに再び金持さん登場。映画、ミュージカル音楽を数曲、アンコールにアリアを1曲。お二人は芸大時代からの名コンビ、気鋭のお二人です。お名前も金持、徳備と成功がお約束されたような…。コロナ前からのラブコールが4年越しに実った1日でした。第3部はサンドイッチにワインでの懇親会。感動した時には誰かと分かち合いたいです。会場のあちらこちらに輪が出来て会話



金持亜美さんと徳備佑子さん

が弾みます。50分程で終わりの時間を迎え、皆さん満足したお顔で帰られました。このような至福の時間を与えてくださったお二人に本当に感謝です。
(山下扶佐子 記)

第22回作品展

藤沢稲門会作品展が10月8日(13日)、藤沢市民ギャラリーにて出品者45名、2サークルの参加により開催されました。会員及び其の家族友人に限らず数多くの一般の方々もご来場なされる活気ある会場には、藤沢三田会、明治大学校友会藤沢地域支部、横浜・茅ヶ崎・鎌倉各稲門会の方々もお見えになりました。

作品展の柱となる写真・陶芸・絵画では「フォトクラブ」「陶芸

錦秋賑やかに開催

クラブ」など同好会を中心に多くの意欲的な作品が展覧され、写真では二科展入選の会員の作品も展示され、陶芸では火炎土器や金継ぎが初出品されました。絵画では油彩・水彩・銅版画・イラストなど多彩な個性が肩を並べました。



作品展出品者の皆様

工芸では編み物・刺繍・革細工・ステンドグラスなど多様な作品の中、Nゲージ・ジオラマが展覧され鉄道ファンのみならず多くの方の注目を集め、和装生地を巧みに生かしたミニチュア工芸では大河ドラマ「光る君へ」を彷彿とさせる華やかな世界が再現され観客を魅了しました。「かるた藤沢百選」が藤沢市教育研修材料に採用された「藤沢言葉遊びの会」や、参加2年目の書

穂 漣

道サークル「遊書会」も工夫されたグループ展示を行いました。作品展の会場の楽しげな雰囲気と華やいだご来場の方々の表情に、次回作品展もさらに豊かに活性化したいという気持ちを感じました。

松本佐知子
(昭和52教育・54専攻)



来場者の交流の場となった会場

恒例のテニス大会を開催

藤稲テニス同好会

藤稲テニス同好会では、10月13日(日)に恒例の秋のテニス大会を開催いたしました。

長瀬輝行(昭和36・法学)の開会のあいさつの後、12時より辻堂アアップテニスクラブの2コートをお借りして大会が開始しました。

普段から和気藹々とテニスを楽しんでいる仲間たちですが、いざ試合となると時に厳しいシーンもあり、明るく、たまらに厳しく、和やかに大会を楽しみました。

当日は、稲門会作品展の最終日と日程が重なっており、掛け持ちのメンバーもおられました。幹事の須田さん(平成元・商学)に苦慮して作成していただいた対戦組み合わせ表と臨機応変なタイムマネージメントのおかげで、14名全員がダブルス5試合をしつかり



健康的で楽しい1日となった大会

安全にこなし、時間通りに大会を終えることができました。

大会の結果は、優勝が李家さん(昭和50・商学)、準優勝が徳永さん(昭和56・機械)、3位は青木さん(昭和53・商学)でした。李家さんと徳永さんは見事全勝でした。

紅葉の三溪園を遊歩

第7回藤稲遊歩会

12月1日(日)、遊歩会は、神奈川県民なら知らない者はないであろう横浜市本牧の三溪園を訪ねた。開園者の実業家、われわれの先輩である。

ラグビー早明戦決勝戦のこの日、34名の参加者は10時半、貸し切りバスで藤沢を出発、11時半に三溪園に到着。晴天に恵まれ赤や黄にもみじした外苑を各自自由に散策した。全国から移築、大切に保存された古民家には本物の干し柿がつるされておき、遊歩道を上り三重塔を経て松風閣展望台に出ると、昔は近隣の人が水着で庭園を通つては泳ぎに行つたという海や、海浜の工業地帯が見渡せた。

昼食後、園のガイドさんに案内

され、三溪私邸私庭のある内苑を見学した。皆さんゆっくりお喋りしながら、紅葉を眺め、散歩を楽しんだ。

遊歩の1日を更に晴れやかにさせてくれたのは、藤沢帰着とほぼ同時にまたらされた、早稲田ラグビー全勝優勝のニュースであった。

松本佐知子
(昭和52教育・54専攻)



三溪私邸私庭のある内苑にて

ラグビー早明戦を応援!

平成卒の会

2024年12月1日(日) 神奈川平成卒の会メンバーで、第100回早明戦ラグビーを観戦してきました。

試合前から国立競技場内で、応援の気合を入れるため、お酒を飲みながら盛り上がり、試合は「縦の明治、横の早稲田」を彷彿させる白熱した伝説の一戦を見事勝利し、17年ぶり関東大学対抗戦Aグループ全勝優勝を決めました!!

試合後は、恒例の「徒歩」で新宿に移動してから忘年会。わざわざ新宿まで忘年会だけに参加のメンバーも合流して、試合の振り返りだけでなく、神奈川平成卒の会の今後の方針なども意見交換。

立ち上げから会長を務めた杉下由輝(藤沢稲門会・平成9・教育)

が退任し、2025年1月より志村健二(茅ヶ崎稲門会・平成6・教育)が新会長に就任することも決まり、今後も稲門会の枠を超えて、平成卒の会の盛り上げを確認して、楽しい宴は終了致しました。

杉下由輝(平成9・教育)



国立競技場のスタンドで

初冬の長後・高倉地区を訪ねて

第32回藤稲史跡巡りの会

当会では藤沢各地区の史跡を何回にも分けて訪ねてきたが、今回は「長後東部」のいよいよ全地区クリアが近い。吉澤忠雄講師の名解説と共に踏破した距離に思いを馳せながら、冬晴れの12月9日、長後駅に集合した。先ず見学した明治天皇駐蹕之碑は一般住宅の庭に建っていて驚く。天皇が休憩された記念の立派な石碑。現当主が暖かく迎えて下さり、貴重な写真も見る事が出来た。

長後初の旅籠で後に呉服店となつた羽根澤屋が、平成6年に開館した羽根澤屋資料館には、全国各地から蒐集した古民具・歴史資料が所

狭しと展示されていた。現在は「長後歴史散策の会」が維持管理し、月に一度だけ一般公開している。同会メンバーに歓迎され、詳しい解説を聞かせて頂いた。

関水家筆子塚は果樹園の中にあつた。筆子塚とは、師の遺徳を偲んで教え子が建てた供養塔の事。ここでも農園主が立ち合われ、これからも長後の地で果樹・野菜を作り続けると力強く語られた。

泉竜寺・諏訪神社・七ツ木神社・東勝禅寺の各寺社では、銀杏が見事に黄葉し山茶花が咲き誇り美しかった。

天候に恵まれて日本の原風景のような景色の中を歩き、地元の方

々の郷土愛と誇りに感銘し、心洗われる一日だった。湘南台駅で解散となり清々しい気持ちで帰路に就いた。

影浦陽子（昭和48教育・国語）



羽根澤屋資料館前にて

「新春カルタ会」開催

藤稲言葉遊びの会

1月18日新春を寿ぎ、恒例のカルタ会と新年昼食会を開催しました。

「かるた藤沢百趣」は完成から数年経過し、広く皆様に定着してきました。市役所会議室での2チームに分かれてのカルタ競技は新入の参加もあり、最後の1枚の攻防をめぐって、今年も大いに盛り上がる。さらに、余興として百人一首の和歌の替え歌を各人披露しあうなど、優雅なひと時を過ごす

ことができました。

午後はミナパークのレストランに移動。昼食をとりながら、にぎやかに懇談。仲間を増やし、どうこの会を盛り上げるかも話し合いました。

私たちの生活はIT等により益々便利になりましたが、それだけでは得られない何かを求めています。時代が変わっても変わらぬ古典文芸への関心もその一つでしょう。

お堅い俳句短歌に拘わらず歌や

なぞかけなど、言葉遊びに興じ、心の豊かさ求めてみませんか、言葉遊びの会では同好の皆様の参加をお待ちしております。

（中野正一 記／高野尚志 写真）



最後の1枚は誰の手に！

2025年度 長寿表彰者

長寿表彰は学部卒年換算で卒後60年の方々に贈られます。おめでとうございます。

★昭和39年卒業（敬称略）

- 植竹 清 / 上岡 亨
- 神谷 義明 / 近藤 男児
- 杉浦 廣 / 須藤 容一
- 多田 ますみ / 隈野 克子
- 畠山 正樹 / 林 秀昭
- 平野 満智 / 福田 光徳
- 藤田 文康 / 矢幡 明樹
- 和田 恵子 / 渡辺 明

長寿表彰を受けて

渡辺 明

（昭和39年理工・建築）

「昭和39年卒後60年の表彰」ありがとうございます。

安保闘争にあけくたした学生生活とでも申しましょうか？ さすがに4年生になると卒論 就職。安保は脇におきました。大学のいたるところに旗がたなびいていました。文学部のキャンパスに吉永小百合さんののぞき見に行ったり。

また建築科の授業では吉阪隆正先生に御指導いただきました。先生は当時、ヴェニスビエンナーレ展の日本館の設計でお忙しくされておりました。

また今井兼次先生からはスベ



長寿表彰の皆様

ンの建築の素晴らしさを教えていただきました。バルセロナのサクラダファミリア等々。アントニオ・ガウディの作品について熱烈に語る姿は感動的でした。

バルセロナには3度程訪れました。その時のガウディ体験が、その後の私の設計活動、生活のすべてに影響を与えております。

今年巳年、年男でもあります。脱皮しながらがんばりましょう。



お知らせ

- 2025年4月1日以降投稿分より早稲田学報への投稿ルールが変更になりました。
- 1稲門会につき、学報への掲載は年3回まで。それ以上は校友会のウェブサイトへ掲載します。投稿文の文字数は400字厳守（それ以上は編集室で文字数に収まるように手を入れます。参加者のお名前は記載しません。（ただし、本文中に登場する会長や幹事長、文責者などは除きます）
- 穂濤編集委員では藤沢稲門会主催行事の投稿を優先致します。宜しくお願い申し上げます。

行事予定

■女性委員会主催

みんなで楽しく料理教室

日時・5月25日⑩

会場・鶴沼公民館 創作実習室

講師・舛岡幸子さん

参加費・2500円

申込み・HPより

(先着男女25名)

■地引網

日時・6月15日⑩

会場・鶴沼海岸／堀川網

編集後記

2025年も3月。何気なく過ぎていくが21世紀の第2四半期がすでに始まっている。最初の四半世紀、様々な出来事があったが人工知能AIの出現と急速な進展には恐れ入る。

言葉でやりとりする生成AIから、すでにAIエージェント、つまり人の代理として考え行動する段階に来たらしい。

門外漢だが次の四半世紀にAIが人間の能力を超えるのは確実と見た。脅威にならぬことを望みたい。
(安田佳裕記)

編集委員長 青木 康

編集委員 高野尚志・中野正一

安田佳裕・山口金雄

山下扶佐子